

2024年3月2日（土） バガヴァッド・ギター勉強会

- ・朗誦：第18章11節～第18章20節
- ・勉強：第5章25節、第6章29,30,32節

みなさん、おはようございます。

前2月のギターの話は「サルヴァ・ブータ・ヒテニラターハ」について、いろいろ説明しましたね。

サドゥーの性格と、サソリの性格は違う、サドゥーの性格は救ける、虫の性格は傷つける。それはシンボリックですけど、人間の中にもその種類の人があります。ある人は他の人をタスケます、ある人は他の人にトラブルを大変な状態をつくっています。タスケないで他の人を困らせるのが好きです。

それから、前のクラスで言いましたね、聖書の中に、「他人を自分のように愛しなさい」。コーランの中にもそのことがあります、イスラム教の聖典にも「皆さんにしてもらいたいことをあなたもそうしなさい」。お釈迦様の教えの中にもあります。

今、私の質問があります、皆さん答えてください。

バイブル、聖典、佛説、の助言が皆そうです、みなさん愛してください、タスケてください、非利己的になってください、無私になってください、、、。

原因（理由）は何ですか？

愛してください、タスケてください、非利己的になってください、それが助言ですけど、どうして？、

その原因（理由）が理解（ワカ）らないと、なれません、できません。

どうして、私は非利己的にならないといけないですか、Why? その説明がありません。

とてもいい助言ですけど、どうして、他人を愛さないといけないですか？

その原因（理由）がはっきり理解（ワカ）らないと、やる気ができません。

他の人から聞いた助言だけでは、やる気が出ない。

その Reason (理由、わけ、根拠、道理) は？

質問の意味はわかりましたか。我々、子どもの時、日本でもそうでした、が、親父（オヤジ）。

それから地震、雷、、あります。我々の時そうでした、お父さんはとてもこわかった、

ネバー・ノー・クエスチョン(Never no question) !

お父さんがそうしなさいといえ、そうしないといけない。現代の子どもたちはそうでないけど。

お母さんに、どうしてそうしないといけないですか、と聞きますね。

赤ちゃんの時はそうしない、年が上になると、どうして、どうして、どうして、と質問しますね。

どうして、関係ない人を愛さないといけないですか？ どうぞ答えてください。

(参加者) 苦しみを解決するための障害、エゴが最後の障害、それをなくすための方法

OK、他の答え何がありますか？

(参加者) 利己的であることが結局最後に自分の苦しみになります。

他の人助けますと、楽しみがでます。

(参加者) 本来私は純粋な清らかな心がありますけど、できない。

それは別の答えです。もっと深い答えです。

(参加者) そのほうが幸せを感じるから。

もちろんいろいろその種類の答えある。もっと深い哲学スピリチュアルな理由があります。

(参加者) 別々に見えているけどそれはマスク。ベースは同じで、自分だから。

本当はそれくらいの答え。それを、例えば、
バクティ・ヨーガ、ギヤーナ・ヨーガ、の2つの見方で、理解しましょう。

◎ バクティ・ヨーガの考え

バクティ・ヨーガの考えで **6章30節** 見てください。

(朗唱する)

神様の中にすべてのもの、すべてのものの中に神様がいる。存在は1つです。

そのことを考えて、

たとえばお母さんとお父さんが両親が同じだったら、

人間の人と人、その関係は兄弟姉妹の関係になりませんか。

人間の家族はワン・ファミリー。1つです。その家族は何の家族？ 人間の家族。

今の家族のアイデアはとても狭いですね。

自分の奥さん、旦那さん、子どもたち。ほとんどそうです、時々、兄弟姉妹でもない。

子どもの時とても仲良しでしたけれども、だんだんあまりそんなに仲良しではない、かもしれない。色々原因はあります。財産、お金、、、家族特有の問題がありますね。

自分の兄弟姉妹の子どもの時を考えてください。皆、とても仲良しでしょう。

例えば、お姉さん、お兄さん、弟、妹。それで、もし1人が困っていますと他が絶対助けますね。そのような見方が大事です。

人類は1つ家族だけ、です。

インド大使館の外壁に書いてありますね。「この世界の皆さんは我々の親戚」です。
もちろんサンスクリット語で書いてあります。

普通の考えと違いますか。世界の皆さんが同じ家族という考えは全然無いです。
普通は、自分の国・町の中に自分の家族が居ます。自分の国の皆さんが我々の親戚、自分の町の全ての人々が我々の親戚、そのイメージも出無い。同じ町、同じ村に住んで居る人が我々の親戚、そのイメージも出無い。同じ国に住んで居る人が我々の親戚、もちろん、その考えはあまり無い。世界の皆さんが私の同じ家族、その考えは全然無いです。

お坊さんになりますとちょっと違います。出家者は自分の家族が無いです。他の家族は自分の家族、と、そう考えることが楽です。私は日本に来た、そして、日本の皆さんが私の親戚。そう考えるのは難しくは無い。日本人の皆さんと自分を同一と考えるのは楽です。
自分の家族がもしインドにあったら、自分の家族のことを考えてしまいます。
毎日毎日、電話、ビデオコール。それが普通ではないですか。友達も周りに居りますけれども、自分と同一視はし無い。が、自分の家族を同一視します。自分の家族は郷（くに）に居ります。お坊さんは、出家しましたので、自分の家族とコネクション関係性が無くなっています。自分の家族、そうは言わずに、その代わりに皆さんが我々の家族です。

どうして？ 皆さんは、我々、皆、神の子どもです。
国も関係ない、社会の関係ない、宗教の関係ない、そのアイデアです。

「母なる神様は私のお母さん」です。
「シバ神が私のお父さん」です。
「皆、信者は私の友達」です。

「3つの場所」がありますね。tri-loka (tri = 3, traya = 3)

- ① **Bhūh-loka** この世界、認識できる、人間が住んで居る
- ② **Bhuvah-loka** 精妙な世界、見えない、神でない、人間でない、*demigod* が住んで居る
- ③ **Swah-loka** 天国、神が住んで居る

3つのこの世界は全て私の場所です。
バクティ・ヨーガの見方で、そのアイデアが出ます。
皆さんの両親は神様です。
ある時は、お父さんのイメージが神。例えばキリスト教では。
インドでは両方あります。男性神、女性神の両方。母なる神様も言って居りますでしょう。
要点は、我々は同じお父さん、同じお母さんの子どもですから、我々皆、関係が深い。
他の人は、皆、兄弟姉妹ですから、他の人を助けないといけない。

自分の家族のイメージが最も廣くなります。そのアイデアが出ますと、それを実践します。

例えば、我々の僧院のアイデアは何ですか？

シュリー・ラーマクリシュナが決めた学校に大学に、生徒たちは来て居ります。

寮も創設（つくり）しましたね。なぜなら、生徒たちの中にラーマクリシュナが居ります。

同じように、我々の僧院の病院がけっこう彼方此方にあります。その病人の中に、我々はラーマクリシュナを観て居ります。

その時、人間の名前、形あります。けれども、我々の見方では名前、形は大事ではない。

我々にとって何が大事ですか？ その中に神様が居ります。その神様に我々はお世話します。

普通の病院と我々僧院の病院では見方が違う。そして、何がもっと違う？

その関係で結果が大きく違います。それが大事なポイントです。

普通の病院では入院しますと、それは病人です。

そして、それは患者とお医者さんの関係です。

我々はそうではない。患者と観ない。何を観ます？

シュリー・ラーマクリシュナが来ました。シュリー・ラーマクリシュナに病気が出ました。

そのイメージで我々は、治療してではない、お世話をして居ります。

その様に礼拝して居りますけれども、祭壇の神様の礼拝と、病院の神様の礼拝とは違う。

祭壇の神様の礼拝に於いては、果物、お菓子、色々な食べ物をお供えしています。

病人はお腹の問題があります。その時、普通の食べ物、美味しい食べ物はあげないでしょう？

その時、何を お供えします？ 薬をお供えします。スパイス絶対無い、その種類の、塩無し、

砂糖無し、味が全然出ない。薬、それは苦〜い。ですけれども、これも礼拝です。

大事は、皆さんの困った人の中に神様います。

その見方をもって、その態度をもって我々は助けます。

いろいろNGOありますね。例えば、赤十字など。

それらは全（みな）ソーシャルサービスです。

我々もNGOです。ですけれども、ソーシャルサービスとは言わない。

何と言う？ スピリチュアルサービスです。大きな違いがあります。

ソーシャルサービスは社会的です。スピリチュアルサービスは霊的（レイキ）です。

ソーシャルサービスの時は、時々、名声欲の考えが出るの可能性があります、失望の考えも出ます。我々いっぱいお世話してます。けれどもスピリチュアルサービスは見返りのこと何も考えない。そして、長い時間のサービスは簡単ではない。お世話だけ。

ラーマクリシュナ僧院の例の他にも、カトリック、キリスト教の宗派にも例があります。

カトリックは出家者ですね。独身。同じ見方と態度をもってます。大学もあります、病院もあります。我々の僧院は現代です。キリスト教は昔からあります。ですけれども、態度は同じです。同じスピリチュアル精神です。同じ見方で考えています。病人の中にイエスがいます。

そのイエスをお世話をしています。それが原因（理由）です。

我々は皆 家族ですから、兄弟姉妹ですから、助けるのが普通ではないですか。

なぜ、他者を助けるのでしょうか？

なぜ自分を愛するようにそのように他者を愛さねばならないのか？

これが原因です。これが理由です。それで、そのわけを説明しています。

我々はみんな神様の信者ですから、何の神様か、は、かまいません。

何の信者か？ その考えは、区別する、その可能性があります。大事なポイントです。

時には、ある宗派のメンバーだったら助けますが、そうでないと助けませんなど、歴史にけっこう、その例がありますでしょう。

同じ宗教宗派だったら助けますが、同じ宗教宗派の信者では無いと助けません。

我々の言うことはそうではない。

信者であっても、信者でなくても、困った人のなかに神様がいます。

神様を信じていない無神論者もかまいません。

その人、信仰が無くても、私の見方で、その人の中に神様がいます。

最近、福音の中に一つ、ある言葉がとても印象的でした。

往々にして、神様を信じていない、その種類の人けっこういます。会ったこともあります。

その種類の人に対して、我々の態度は何が正しいですか。

普通はその種類の人を好きになれないで避けて居りますでしょう。ですけれども、

シュリー・ラーマクリシュナの福音の中で、シュリー・ラーマクリシュナは言ってます。

「神様は両方の種類の人を創造しています。神様を信じている人、神様を信じて無いも。

神様を信じて無い、その人は 無知の影響で 神様を信じて無いだけです。」

神様を信じて無い（無神論者）その人をも、困りますと我々は 絶対その人を助けます！

ある種類の子どももいますよ。大きくなって、自分のお父さん、お母さんとの関係が全然無くなっています。その者には私のお父さんの考えがない。他の人にも言わない。父母を認めない子どもがいますよ。その例がありませんか？ あります。

その者、自分で理解していなくても、本当はその者、神様の息子 です。

◎ギャーナ・ヨーガの考え

ギャーナ・ヨーガの考えは何ですか、**第6章29節**

(朗唱する)

ア-ト-マ-ン書いてありますか？ 翻訳の中にア-ト-マ-ン、何と言っていますか？

ギヤーンナ・ヨーンガではアートルマンを使っています。魂です。いつもこの言葉をギヤーンナ・ヨーンガの見方で使っています。自分のアートルマン、すべての生きものの中にいます。

すべての生きもののアートルマンが自分の中にいます。そして、結論は何ですか？

アートルマンがあらゆるところにいます。

アートルマンが遍在です。

そして、同じ存在です。中のものが同じです。1つだけです。

それが魂です。アートルマンです。

本当にそうではないですか？ 識別しましょう。

外からみますと、服違う、デザイン違う、色、女性、男性、体も違う、

太った、痩せた、色が白い、黒い、髪が長い、短い、髪があまりない、、、ありませんか？

外から見ますと、全然違う。同じ国でも、関西、関東、沖縄、違う。

国と国とでも違う。社会も違う。外の見方で、外から見ますといろいろ違う。

名前、形、仕事、国、宗教、、、違う。

ですけれども、もっと中に入ってください。

一つは、ちょっとだけ中に入りますと、皆さんの中に血ありませんか？ 色が何ですか？

それ、血の色はみんな同じではないですか？ アメリカ、インディアン、日本人、女性、男性、

ヒンズー教、イスラム教、血の色は別々ですか？ 同じですか？ どうですか？

肉体的な考えでも同じではないですか。皆、血の色は赤です。

もうちょっと入ってください。

心です。考えは違いますけれども、もっと入って、知性、記憶、自我。皆さん、構造は同じ。

皆さん、私意識と私の考え、ありますね。違いません。私の国、私の宗教、、、違い無し。

ですけれども、肉体的な身体から自我まで一時的で有限です。永遠・無限では無い。

皆さんのもっと中に何がありますか？

無限と永遠。それが魂です。

アートルマンに比べると、人格はありますが、それは一時的、有限です。

皆さんの魂は永遠・無限です。

始まりも無い終わりも無い。

絶対です。

衰えて無い。

それが魂です。絶対の存在です。

アートルマンが皆さんの中にいます。

あらゆるところにいます。

そのような見方をすると、存在が1つです。アラワレだけが違う。

例えば、光。電球の色が違いますと、青い、赤い、ですと、アラワレが違いますから、別々の

カラー（色）に見えます。グーグルもそうです。色が赤、グリーン、、、色々です。通して見ますと、全部赤く見えます、緑、青、、、別々に目に映ります。本当はものは同じです。アラワレだけが違う。外から見ますと存在が別々です。名前、形、皆別々です。けれども、中の存在は1つだけ。そのように考えますと、サッテック・ブッデネです。

サッテック・ブッデネは何ですか？

→ サットワ的な知性とは、外から見ますと存在が別々に見えますけれども、中のものは1つだけ。

ラジャステック・ブッデネとは何ですか？

→ みんなバラバラ。普通そのように見ます。

タマシック・ブッデネとは何ですか？

→ これだけが正しい。他を認めない。

例えば、自分の決めた神様だけ正しい。他の神様は正しくない。自分の聖典だけ正しい。そして、もう一つの特徴は、（自分が信仰している）お寺の中の神様だけが正しい。その神様も本当は永遠・無限の存在ですが、自分の宗教だけが正しい、それは、とても狭い考えですね。

それはタマスの考えです。

ラジャス的な考えは、別々です。これも正しい、あれも正しい。

ですけれども、自分とは関係ない。

サットワ的な考えは、すべての宗教の中に、同じ神様の存在を観て礼拝しています。

外から見ますと、儀式も違う、やり方も違う、お祈りの言葉も違う。

ですけれども、一つの同じ神様だけの存在を観て礼拝しています。アラワレが違うだけ。

シュリー・ラーマクリシュナの

「信仰の数だけ悟りの道がある」

同じことではないですか？

どうして、我々は困った人を助けないといけない？

どうして、無私にならないといけない？

どうして、非利己的にならないといけない？

原因（理由）はそれです。我々は、同じ存在の別々の部分だけです。

6章32節 見てください。

（朗読する）

自分が皆さんの中に存在しています。

そうだったら、他の人が困っていますと我が困っています。

そのように考えて他の人を助けます。

皆さんにしてもらいたいことを、あなたも皆さんにそうしなさい。

それが アートルマウパシミニエーナ = 我が身の上のこととして (6章32節) でしょう？

その関係で、期待は何ですか？

まず、自分について、何が期待ですか？

私は楽しみが欲しい。そのように他の人も楽しみが欲しい。

自分は苦しみが好きではない、もし苦しみのこと出ますと、その問題を解決する為にやりま
す、他の人が苦しみますと、他の人を助けます。自分と同じですからね。

それから、自分も幸福が欲しい。他の人も幸福であって欲しい。

また、自分は善い状態が欲しい。他の人も善い状態であって欲しい。

自分は幸せが欲しい、他の人も幸せであって欲しい。

それで我々、その種類の祈りが出ます。

Om sarve bhavantu sukināḥ
sarve santu nirāmayāḥ
sarve bhadrāṇi paśyantu
mā kaścīd duḥkhabhāḡ bhavet

オーム サルヴェー バヴァントウ スキナハ
サルヴェー サントウ ニラーマヤハ
サルヴェー バッドラーニ パッシャントウ
マーカスチーッド ドウツカバーグ バヴェット

アートルマウパシミニエーナサルヴェアットラ = すべては我が身の上のこととして

6章32節

あなたがしてもらいたいことは、皆さんも同じ状態であって欲しい、
その為に他の人の為に祈ります。

祈りの源、因り処 (background) は、自分がその状態が好きですから、です。

すべての人が幸せになりますように

(自分が幸せが欲しい、皆さんも幸せであって欲しい／自分が元気が欲しい、皆さんも元気で
あって欲しい／自分が善いものを見たい、皆さんも善いものを見て欲しい)

自分が問題を解決して苦しみを解放したい、

皆さんも問題を解決して苦しみから解放されますように、

Sarveshām svastir bhavatu
sarveshām sántir bhavatu
sarveshām purnam bhavatu
sarveshām mangalam bhavatu

すべての人が幸福でありますように
すべての人が平安になりますように
すべての人が完全になりますように
すべての人が善い状態になりますように

自分がその状態が好きですから、それが源です。その祈りのバックグラウンド、私はその状態が好きですから、他の人もその状態になる、その為に祈っています。自分は幸せが欲しい、他の人が困っていますと問題の解決が欲しいです。すべての人が元気でありますように。自分の平安が欲しい、皆さんも平安がほしい。自分の為に善い状態が欲しい、皆さんにも善い状態も欲しい。

祈りについて、我々の助言は、是非是非、毎日毎日、それを祈ってください、です。お釈迦様の助言もあります。お金なくても、毎日毎日、それを祈ってください、と。毎日祈って居る方はいますか？手を挙げてください。

結果として祈りは自分を助けます。
祈っているあなたからバイブレーション・波動が出ます。
最後に波動はあなたに戻ります！完全なサークル・輪です。
とても科学的なことです。
本当は一番いいやり方は自分を助けるためでない。
他の人を（純粹に）助けるのがいい。見返りのこと考えないで。
祈り時、自分を助けるとは考えないで祈りますと一番いいです。期待しなくてあなたに戻ってあなたを助けます。見返りのこと考えない、その方がもっと、やる気が出ます。

次に、問題は何ですか？実際のこと考えます。
普通は往々にして、嫉妬のことがあります。
我々の友達、近所の人、仕事の友達の状態がけっこうよくなりました。お金を稼ぎます、と、心の中にちょっと、嫉妬の考えが出るかもしれない。潜在意識の中にありますからね。助言の反対の状態が出るの可能性が。

その時、どうします？
パタンジャリのヨーガ・スートラのとてもとても実践的な助言があります。
否定的な考えに抵抗するには、肯定的な考えをするやり方です。最も優れているやり方です。その種類の嫉妬が出る可能性があるのは、それが人間の性質ですから、それを反対にする為、その種類の祈りが大事です。親戚、近所、友達が良い状態になると自分も喜びます。口で言うのはあまり大事ではない、内（なか）の想念・感情が大事。口では「私、とってもハッピー」と言っても内は違う。口ではおめでとうと言いますが、心の内はどうですか？内省しないといけないです。内は喜んで無い可能性がありますから、実践が必要です。

他の人が困っても、普通の考えでは「私は関係ない」です。隣の住者との関係無い。

アパートメント(apartment:集合住宅) では、往々にして、エレベーターに入っても、こんにちは、おはようございます、の一言だけで終わり。
ですけれども、その方はとても困っている可能性がありますでしょう。無関係、それが普通。街と村では若干異なりますね。村では隣人が困りますと助けますね。町は安全性など色々な原因があります。少なくとも心配、慈悲ありますけれど、実際どれだけ助けることができるか等、理由があるかもしれない。
少なくとも、無関係と考えないで、その人は困っているのでしたら、その人の為に祈る。それが大事ですね。

また、ある人のよい性質いっぱいありますけど、悪い性質が少々でもありますとその人を批判します。一方、自分の少々の善い性質がありますと、うぬぼれ出てます。
自分の悪い性質があっても気にしません。
その関係で、1つ“素晴らしいサンスクリット語で言葉”があります。

(マハラジが、“サンスクリット語で言葉”を唱えられる 2回)

ある種類の人があります。言葉、行い、が甘露みたい。とても甘い。他者を助ける。
3つの場所の生きものを助ける。他者の善い性質は、原子みたいにとても小さいですけれども、それが小さくても、ある種類の方は、とても大きいと想い描いています。
その者の善い性質は とても小さく、原子程の小ささでも、
あの種類の素晴らしい人の観方では、山みたいに大きい、と褒めています。

例は、
ホリー・マザー・シュリー・サーラダー・デーヴィー、シュリー・ラーマクリシュナ、お釈迦様、イエス、聖者その種類の悟った人や神様の化身は、他者を直す為に、その悪い性質を批判し無い。そして、善い性質を、即ち、そのとても小さい、原子程のとてもとても小さい性質を、悪い性質がいっぱいあることを観ないで、褒めて、励まして、逆転ひっくり返して直します。
直す為の方法が批判では無い。愛する です。

その様にして、聖者たちは皆、悪者を変化させています。
ホリーマザーの生涯、シュリー・ラーマクリシュナの生涯に、例がいっぱい出ています。
善い性質を強調しています。
とても素晴らしい例では無いですか？ 原子と山。

結果、自分の心が廣くなります。
もう一つの結果は、悪者は善い人になります。罪者は聖者になります。

どうして、例を以て説話しました？
その種類の方は、我々の理想的な人だからです。

サルヴァ・グニタ・ヒテニ・ラターハ

すべてのものを助けています。

それがその種類の人（化身・聖者・悟った人）の性質です。

それはどなたですか？

今日は“サンスクリット語の言葉”を以て、
その種類の人とそのやり方・方法についても、
詳しいことを説話しました。